



給食とお弁当

学生時代、毎日一番楽しみにしていたのは給食でした。毎月新しいメニュー表が発行されて、おいしそうな給食が出る日は、2ドル(約200円)持って学校に行きました。毎週金曜日になると、子ども達が大好きなピザやスパゲティー、ハンバーガー、タコスなどが給食に出ました。その「スペシャルメニュー」の中で最も好きだったのは「ウォーキング・タコス」でした。全然ヘルシーではないけど、コーンチップスとタコスのトッピングを混ぜて食べる料理で、いつも楽しみにしていた一品です。でも、好きではないメニューの日は、母がお弁当を作りました。

初めて日本を訪れる方でも、「お弁当」という言葉はすぐ覚える単語の一つです。私も様々な国に行っていますが、日本のお弁当は本当に独特です。いつもキレイに並べられているおかずとご飯は、お腹が空いてなくても食べたい気分になります。アメリカのお弁当は、サンドイッチやサラダ、ジュース、フルーツ、ポテトチップスが入っていて、日本のお弁当とは全く違います。

アメリカと日本の二つの文化の中で育てられてきた私はどちらも大好きで、そのため学生の頃のお弁当も毎回多国籍メニューでカラフルでした。母が作った巻き寿司や炒め物が弁当箱に入っていたら、友達によく「何それ?! 食べてもいい?」と聞かれ、お昼時間になるとみんなでお弁当をシェアすることが多かったです。

アメリカの給食もおいしかったけど、母が頑張って作ったお弁当ももちろんおいしかったです。アメリカ風の食事でも母が作った料理も、学校でおいしい物ばかり食べてた私は、今考えてみると贅沢で幸せに育ってきたなあと思います。

School Lunches and Obento

During my school days, one thing I looked forward to every day were school lunches. Lunch menus were released each month and whenever there was a day that seemed rather decent, I'd take \$2 to school. Every Friday the menu included foods children loved, like pizza, spaghetti, hamburgers, or tacos. Within that "special menu," my favorite was definitely the walking taco. It's nowhere near healthy, as walking tacos are normally made with a bag of corn chips with all of the taco toppings mixed inside, but it was always one lunch I couldn't wait to eat! And on days with lunches that weren't as great, my mother would prepare an *obento* (lunch box) for me.

Even with people visiting Japan for the first time, the term "*obento*" is something that easily sticks to one's vocabulary. I've been to a few countries and Japan's *obento* are definitely one of a kind. With the side-dishes placed so neatly, and all the rice, looking at *obento* tend to make me hungry even when I'm not. Packed lunches in America normally contain a sandwich or a salad, fruits, juice, and maybe potato chips, so it's obvious how different they are compared to *obento*.

I greatly appreciate that I was raised alongside both American and Japanese cultures; my lunch boxes were always multicultural and colorful as a student. If my mother put sushi or some type of stir fry in my lunch box, my friends would ask, "what's that?! Can I try it?" We often shared whatever food we had at lunch!

American school lunches were pretty good, though the lunches my mother packed were delicious too, of course. Thinking back to when I was a student and how I'd indulge in both American and Japanese-style foods while at school, I have come to realize - I sure was spoiled!

マリコ・クック Mariko Cook
2012年8月から国際交流員として、
浦添市役所国際交流課に配属される。
米国インディアナ州出身
原文・和訳：マリコ・クック



いは ゆうと
伊波 雄翔(4ヶ月) 仲西在

たかみやぎ ひばり
高宮城 妃晴(1歳) 牧港在

なかざと げんた
仲里 元汰(11カ月) 勢理客在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月5日までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月, 1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)・一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎876-1234(内線2613・2614)
E-mail: kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイサイ こちら市長室!



浦添市長
松本哲治

「結いの心」

先日、てだこホールで行われた浦添ゆいゆいキッズシアター感謝公演「太陽の王子」を観た。代表の真栄田義之氏の説明によると、浦添ゆいゆいキッズシアターは平成12年の文化事業「演劇の季節・結」をきっかけに結成され、今年で9年目を迎えた団体である。これまで「シーサーキング」「察度王物語」、転機を迎えた平成18年からは「君となげる虹色」「舜天幻想記」「交わされた絆」ようどれに眠る愛」「アオリヤエ」等の演劇を公演している。

この舞台が凄いのは、小学校3年生から高校3年生までの子どもたちとゆいゆいキッズの卒業生が演じていること、そして、舞台や衣装などもボランティアのスタッフと保護者が全て作り上げていることである。プロの劇団のようにうまくはなくとも、プロの劇団に負けないだけの情熱がステージから溢れているのである。懸命に演じ、懸命に唄い踊る子どもたちの姿からは、この舞台が好き、この浦添が好き、そして何よりも、この仲間たちが好きという想いが伝わり、それが観るものに感動を与えてくれるのだろう。

ところで、この物語の中で「王にふさわしき四つの心」というものが英祖に

よって語られる。その心とは、「万の力を与える励まし心」「臆病の山を越える勇氣の心」「ひらめきを持ちたる知恵の心」そして、「自分を信じぬく素直な自分の心」である。ある意味、この四つの心は現在でも全てのリーダーに当てはまる心ではあるまいか。

考え過ぎかもしれないが、子どもたちに「市長、あなたにこそ必要な心ですよ」と教えられたようだった。王と市長とを混同するほど傲慢ではないが、その夜、この学びのために私は招かれたような気がしたのだった。

圧巻だったのは、舞台の最後に英祖がこの四つの心よりも大切な心を説き、こう語るシーンだった。

「人の心を動かすのも、また、人の心。私が変われば、全てが変わるのだ。人々が結びつく。お互いに手を取り合う。そう、全てを繋ぐ結いの心」

恐れ入りました。

問い合わせ 秘書課

☎876-11234(内線2563)

市長とゆんだくランチのお知らせ

日時 5月23日(金) 正午〜午後1時

場所 市役所9階展望ロビー

※お弁当と飲み物は各自で準備ください

問い合わせ 国際交流課

☎876-11234(内線2614)



「沖縄国際映画祭浦添編ロケ地ツアー」巻

浦添市民の皆さま、こんにちは! ウラソエ仮面です。ゴールデンウィークは楽しく過ごせましたか? さて、沖縄国際映画祭浦添編のお話です。3月22日(土)にてだこ広場で「たま子とチョーチカーの呪文」が上映されました。この映画の撮影場所に海外メディア関係者をお招きしてのロケ地ツアーに同行しました。浦添ようどれ、浦添城跡、安波茶橋と石畳、映画製作のモチーフとなった経塚の碑などを巡り、最後は仲間自治会のご協力を得て、沖縄の一般的なウガン(拝み)行事の取材も行いました。

この映画を完成させることができたのも、浦添商工会議所青年部、浦添青年会議所、浦添市、浦添歴史ガイド友の会と市民の皆さんのご協力のおかげです。沖縄国際映画祭浦添編を通して、浦添市の歴史や魅力を伝えることができましたと思います。今回のイベントをきっかけに観光客が浦添市を訪れることを期待しています。

これからは、ウラソエ仮面も浦添市の観光PRため県外へ飛び出す予定です♪

うらそえナビ 検索



安波茶橋と石畳



浦添ようどれ



経塚の碑



仲間自治会

問い合わせ 浦添市観光協会(商工産業課内) ☎876-1234(内線3167)